

## 各データベース概要

## 資料2-2

	データ種類 内容	提供元	登録者数/ダウンロード数/ユーザー 種別	サーバー概要	運営主体、原資	データポリシー、利用制限 等
DIAS	衛星観測データ、河川テレメーター、Cバンドレーダー、XバンドMPLレーダー、再解析データ、気候変動予測データ、ダウンスケーリングデータ等	気象庁、JAXA、国土交通省、気象研究所、東京大学、環境省、JAMSTEC、文部科学省等	登録データ量: 2.67 PB (2015年度) ユーザー数: 1,784人 (2015年度) データダウンロード数: 約85万ファイル、28,000GB (2014年度); 約123万ファイル、9,000GB (2015年度)	解析サーバ 大容量ストレージ (27PB) (ディスクアレイ、テープライブラリ) 高速ネットワーク (SINET5)	文部科学省	DIASのデータ利用ポリシーは、第1にデータ提供機関のデータ利用規約を優先する。データ提供機関の定めがない場合は、DIASのデータ利用規約を適用することとし、研究及び教育目的に利用可。
J-DOSS (海上保安庁)	各層データ、海洋生物、海流、潮汐、流速計、海洋汚染、地球物理、海洋情報、統計プロダクト、等	51件 (2015年度) (国土交通省地方整備局等、国土地理院、気象庁、産総研、JAMSTEC、港湾空港技術研、自治体水産試験場、三重大学、海上保安庁、等)	DL数: 16,215件 (2015年) 大学・研究機関: 35% 民間: 33% 一般: 23%		海上保安庁	オープンポリシー (無償、無制限) クリアリングハウス及び海洋台帳
全国日別 1kmメッシュ農業 気象データ	気温 (日平均、日最高、日最低) 降水量、日照時間、全天日射量、下向き長波放射量、日平均相対湿度、日平均風速、積雪深、積雪相当水量、日降雪相当水量、等		登録者数: 153件 (年約30件増加)  農業関係機関、ICT事業者、農業生産者	農林水産研究情報総合センター・バーチャルラボシステム。 データ転送プロトコルは、OPeNDAPを利用	農研機構、一部の開発経費はSIP	農研機構は、特定向け気象予報業務許可を取得している。SIPで、気象事業者への技術移転を目指した共同研究を実施中
気象データ (気象庁)	観測データ、解析・予測データ、防災気象情報	気象庁、国内外の関係機関	1日に集配信する気象データ量: 1.6TB (2014年度)	気象庁ホームページで公開する他、気象業務支援センターを通じてデータ配信	気象庁、気象業務支援センター	
J-IBIS (環境省)	生物多様性センターによる調査等データ・報告書、ライブカメラ画像、一般の調査報告 (いきログ等)、GISデータ。	生物多様性情報システム、インターネット自然研究所、いきものログ、自然環境調査Web-GIS	アクセス数: 407万件/月 (2015年実績) 一般・民間等。 いきものログ登録ユーザー: 2,491名 (H29.1現在) DL件数 (GISデータ): 14,400件 (2016年4~11月)	Web/APIと各サブシステムDBで分離。 1CPU/12コアないし8コアのH/Wでサーバ構成。	環境省生物多様性センター	掲載内容は自由に利用可 (一部コンテンツを除く)
GBIF (環境省)	地球規模での生物多様性情報が約7億件。Ex) 標本データ、観測データ	国立遺伝学研究所、国立科学博物館	参加国: 57か国 (米、独、仏、英、韓国、豪、オランダ、ベルギー、日本、等) 及び39機関 (ASEAN Centre for Biodiversity; ACB等)、計96の国・機関が参加。	各国の拠点 (ノード) を経由してデータを収集。	日本ノード運営委員会 が文部科学省 (ナショナルバイオリソースプロジェクト) の資金的支援を受け運営	オープンデータのため利用者に制限なし
CEReSデータベース	衛星データ (静止気象衛星、極軌道、周回軌道衛星)、観測データ、地理情報データ、衛星画像集等	NOAA、MODIS、ひまわり、MTSAT、GOES9、等	DL数 (ファイル数): 50,026,637件 (2015年)		千葉大学環境リモートセンシング研究センター	学術、教育目的が優先されるが商用利用も可。原則、無料。
CGIS Japan	各種GISデータ (行政区、道路、鉄道、海岸線、河川、湖沼、流域界、植生、3字メッシュ、標高、傾斜、地上開度、地下開度)		登録者数: 429機関 (2016年5月時点、個人、研究機関、民間などの全合計) DL数: 483件 (2012年6月~2015年5月)		コンソーシアムGISコンソーシアムジャパン (コンソーシアムインターナショナルジャパン、ESRIジャパン株式会社、酪農学園大学、NPO法人EnVision環境保全事務所) ボランティアベース	私的利用、研究利用、商用利用等。ただし、商用利用や二次利用等については元データの規約に準拠無料。